

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学校経営中期取組目標

夢中がいっぱい左近山の子 ～仲間とともに まちとともに 未来とともに～  
 知：自ら課題を見つけ、進んで学び、課題解決に向けて粘り強く取り組む子を育てます。  
 徳：相手の気持ちを考えて、きまりを守って行動できる子を育てます。  
 体：すべてのいのちを大切に、健やかな生活を心がける子を育てます。  
 公：まちに進んで親しみ、地域の一員として生活する子を育てます。  
 関：変化する社会の中でコミュニケーションを大切にしながら、視野を広げ、自分らしく生きる子を育てます。

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		・子どもの人との関わりの姿から課題を明確にし、道徳の時間や縦割り活動などの異学年交流を中心としながら、教育活動全体を通して豊かな心の育成を目指す。	① 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図る。 <b>指針1 「道徳の時間」の充実</b> ② 年間を通しての縦割り活動を充実させる。(縦割り集会、縦割り給食、運動会、全校遠足など) <b>指針2 体験活動の充実</b> ③ 人権学習の取り組みを企画する。 <b>指針3 確かな人権感覚・意識の育成</b> ④ YP アセスメント支援検討会の実施。 <b>指針3 確かな人権感覚・意識の育成</b>
担当	豊かな心の育成委員会		

## 2 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

横浜市学習状況調査の生活意識調査を見ても、自分を大切にする心（自尊感情）や主体的に社会をよくしようとする心（規範意識・公共心・社会参画）の値が低い傾向にある。

相手の気持ちを考えることが出来なかったり、自分の気持ちを伝えるための言葉が足りず、状況や気持ちを上手く伝えられないことなどが原因で、友だちとトラブルになることがある。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、道徳教育の充実をはかる。【視点1】
- ・全学級が家庭・地域に向けて道徳の授業を（年一回以上）公開する。【視点1】

### 指針2 体験活動の充実

- ・年間を通しての縦割り活動を充実させる。「縦割り集会」「縦割り給食」「運動会」「全校遠足」などの異年齢集団による活動に、自主的、意欲的に取り組めるように支援する。【視点3】

### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・児童の現状を踏まえて、人権学習の取り組みを企画する。【視点6】
- ・YP アセスメントの支援検討会の実施により、学級課題の改善や子ども個人の課題の改善に向けて校内の指導體制を整え、教師集団が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにする。【視点7】